

質問30分 質問・答弁60分

一般質問通告書

通告番号

入間市議会議長 様

8番

松本義明

平成25年11月19日

| 質問事項 | 質問要旨 | 答弁を求める者 |
|------|--------------------|----------------------|
| 福祉行政 | 地域福祉の推進 | 福祉部長 〃 〃 市長 |
| | 1. 第1次入間市地域福祉計画の総括 | |
| | 2. 第2次入間市地域福祉計画の概要 | |
| | 3. 地域福祉活動計画との連携 | |
| | 4. 地域福祉の推進に向けた取り組み | |
| | ・全庁的な取り組みの必要性 | |
| | ・地域福祉コーディネーターの配置 | |
| | ・総合相談窓口の設置 | |
| 企画行政 | 開かれた市政の推進 | 市長 |
| | 1. 市民との対話 | |
| | ・行政情報の共有 | |
| | ・たっちゃん市長の市政コーナーの充実 | |

| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 答 弁 を 求 め る 者 |
|---------|--------------------|---------------|
| | 出前市長室、タウンミーティングの実施 | |
| | 2. 企画立案への市民の参画 | |
| | ・「市民シンポジウム」の実施 | |
| | ・パブリックコメントの活用 | |
| | 3. 次期総合振興計画への市民参画 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

一般質問要旨

平成 25 年 11 月 19 日

松本義明

「地域福祉の推進」

近年、社会構造の変化により地域がお互いに助け合う機会や地域住民同士の付き合いが減少している。これらの変化に対応するために、社会福祉基礎構造改革により「地域での生活を総合的に支援するための地域福祉の充実」が掲げられた。平成 12 年には社会福祉法が全面改正されて地域福祉の推進が法的に明記された。そして各自治体で誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていく社会の実現に向けた取り組みが行われている。地域福祉は市民、行政、地域福祉活動団体、ボランティア、福祉事業者など地域に関わる全てのものが協働により推進していかなければならない。また、住民同士の支え合いと公的なサービスを両輪としてそれぞれ充実させていく必要がある。

(1) 第 1 次入間市地域福祉計画の総括

計画で示された方針に関して、何が出来て、何が出来なかったのか。出来なかったことについて、なぜできなかったのか。

(2) 第 2 次入間市地域福祉計画の概要

次期計画の目的と今後の策定スケジュールはどうなっているのか。現在の地域福祉の課題をどのように捉え、計画の中でどのように解決していくのか。

(3) 地域福祉活動計画との連携

現在策定が進んでいる地域福祉活動計画について、入間市社会福祉協議会に対して具体的にどのような連携と支援をしていくのか。

(4) 地域福祉の推進に向けた取り組み

- ・ 全庁的な取り組みの必要性

地域福祉の課題は多岐に渡っており、福祉部だけでなく全庁的な共通認識のもと進めることが

必要ではないか。見解を問う。

- ・ **地域福祉コーディネーターの配置**

地域の人々と一緒になって地域課題に密着して、解決していく地域福祉コーディネーターの配置が各地区に必要ではないか。見解を問う。

- ・ **総合相談窓口の設置**

公民館等の立ち寄りやすい身近な公共施設に総合相談窓口を設置すべきではないか。見解を問う。

「開かれた市政の推進」

現在のまちづくりは成長から成熟への転換期にあり、行政主導型の市政運営から市民との協働のまちづくりに転換していかなければならない。市民との協働のまちづくりをするためには、1人でも多くの市民が市政に参加、更には市政に参画しやすい仕組みをつくり開かれた市政である必要がある。

(1) 市民との対話

・行政情報の共有

対話をするには情報の共有が必要である。行政情報の共有について現状認識はいかがか。情報共有に向けたこれまで以上の取り組みについての見解はいかがか。

・たっちゃん市長の市政コーナーの充実

市民との対話の必要性についての見解はいかがか。ここまで運営してきたの課題認識はいかなるものか。市長が地域やグループの活動の場に出向き、行政報告と意見交換を行う制度は考えていないのか。例えば出前市長室、タウンミーティングの実施など。

(2) 企画立案への市民の参画

・「市民シンポジウム」の実施

自分たちの街の方針に関わる政策の策定過程へ参画して話し合うことが必要ではないか。

・パブリックコメントの活用

パブリックコメントが指針から要綱になった。これまでのパブリックコメントの運用と課題について。今後の運用と活用について。

(3) 次期総合振興計画への市民参画

次期総合振興計画の策定への市民の参画をどのように考えているのか。前回以上の市民参画の実現を。